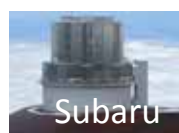
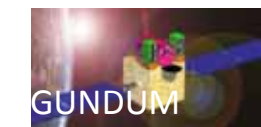
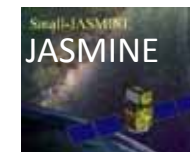
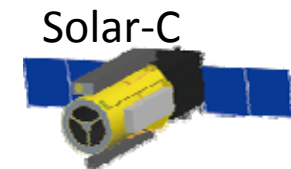
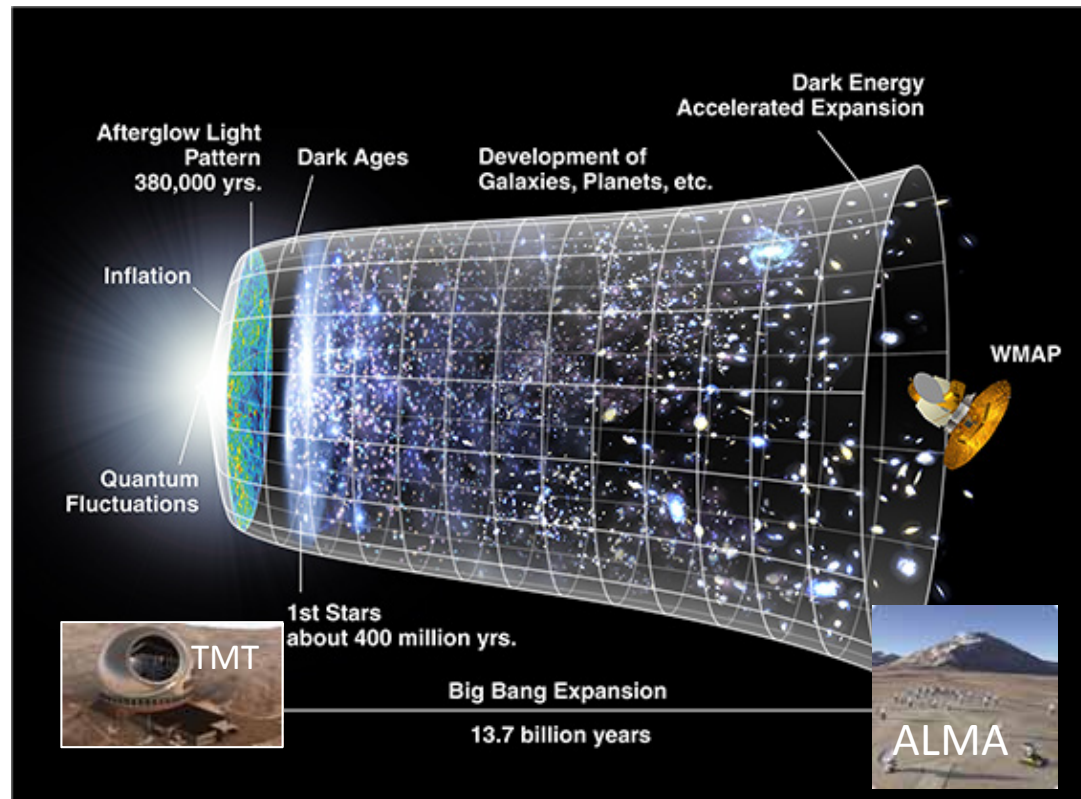
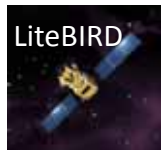


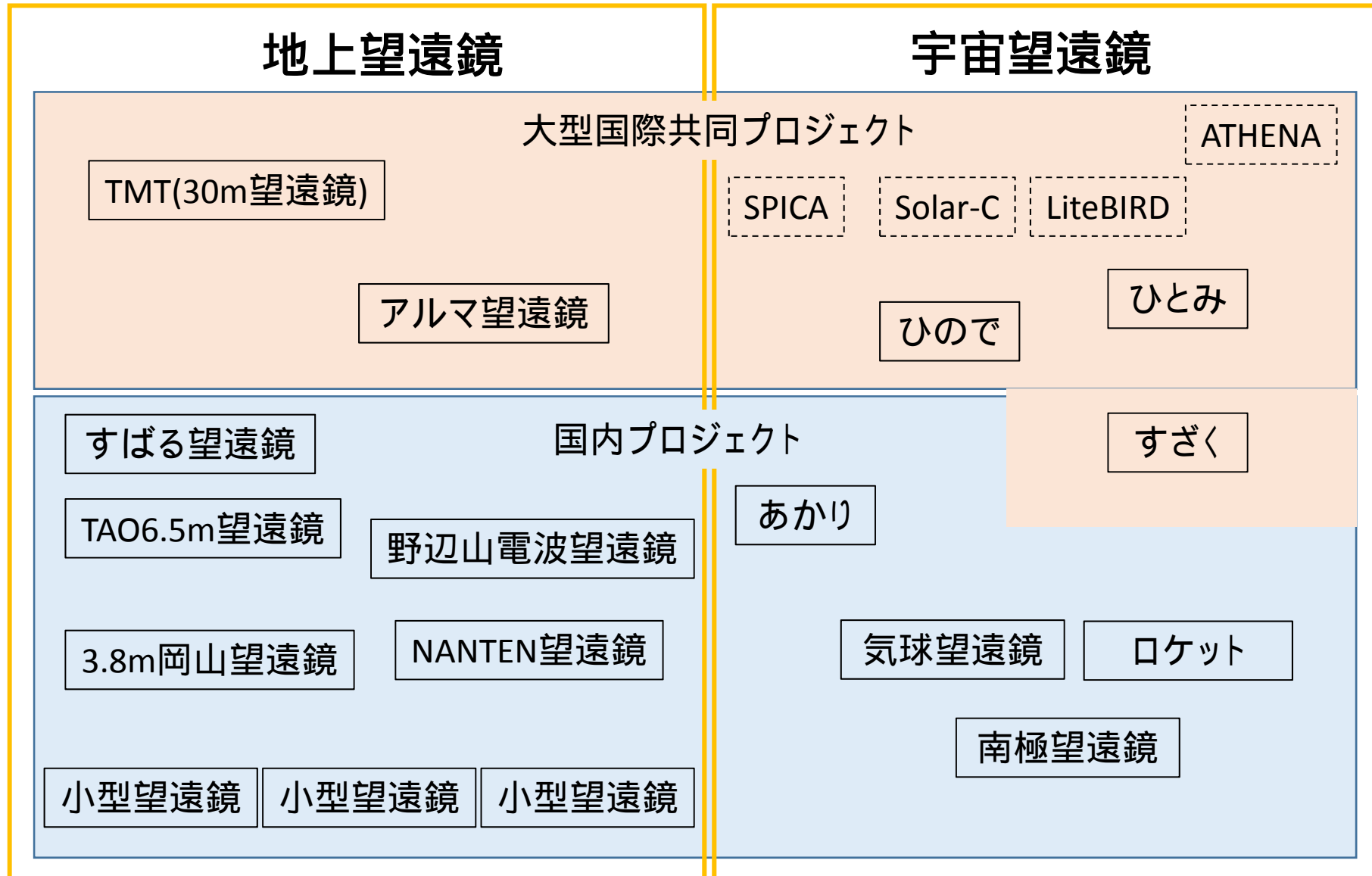
天文学における人材育成

特徴: 極めて多様な宇宙とそれに伴う様々な観測手段

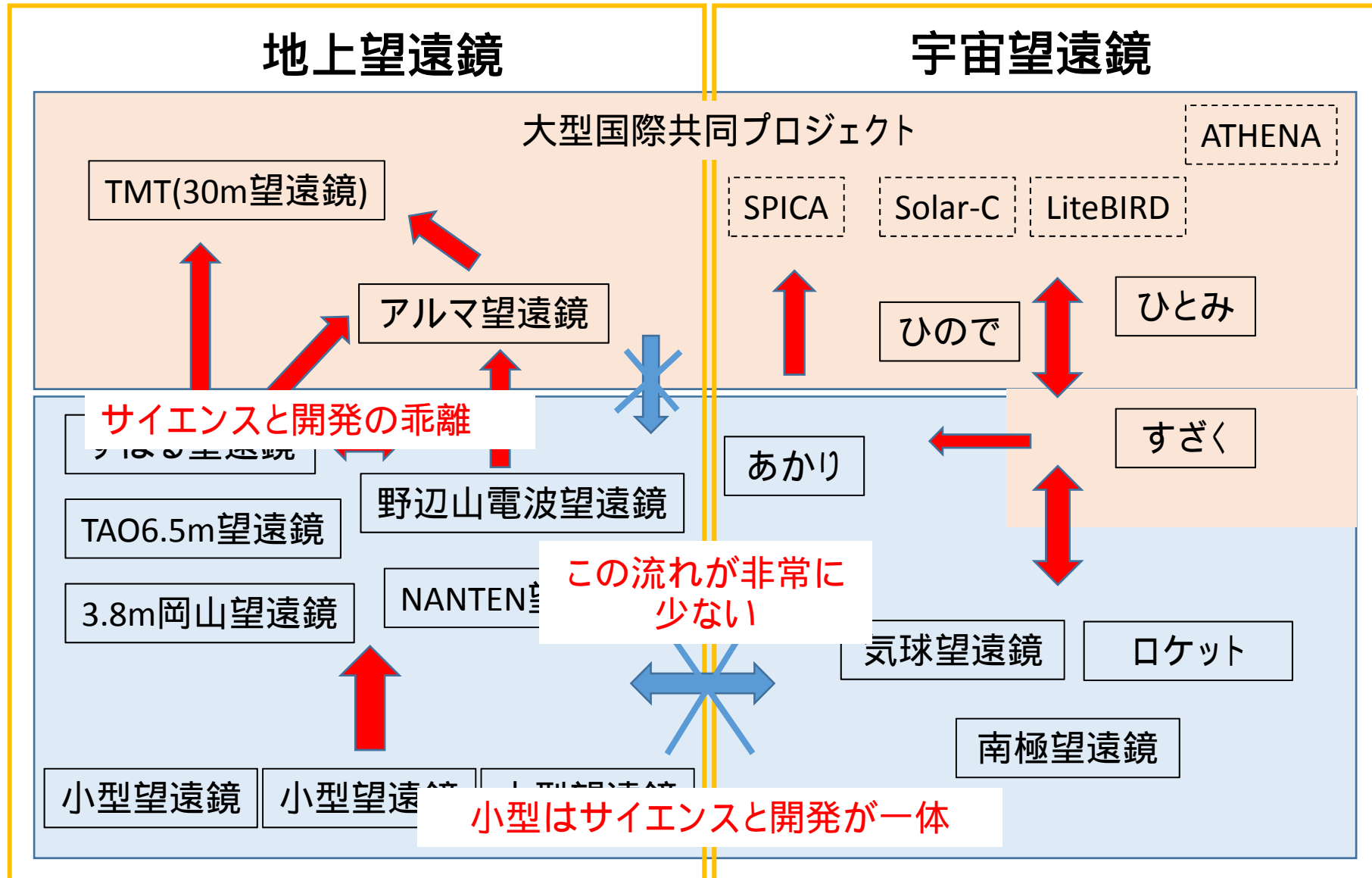


東北大学理学研究科天文学専攻
日本天文学会会長 市川隆

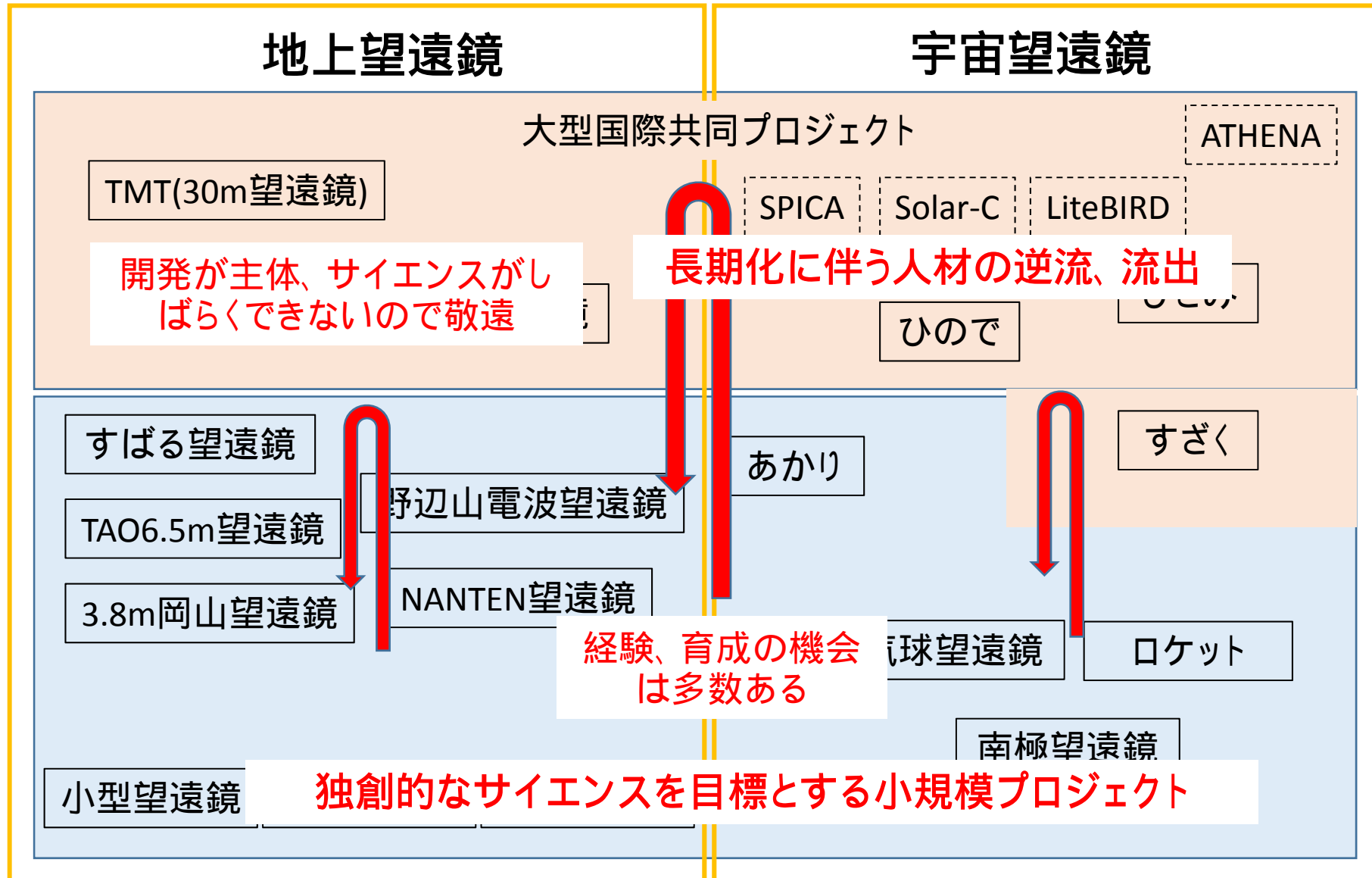
プロジェクト(例)



人の流れ(現状)



プロジェクトの経験、人材の逆流



利点

- 大小プロジェクトでの開発、研究への参加機会が多い
- 国際的研究プロジェクトが増加、グローバル人材の育成

問題点

- (地上観測)プロジェクトが多すぎることによる人材の分散
- 大型計画を大学に受け入れることの問題(教育、施設)
- **短期ポスト**でのPI・プロマネの体系的な育成は困難
- **大型化に伴う開発期間の長期化**
長期間開発は大学と研究所での人事交流の障害

提言

- 人材の交流を促す施策
クロスアポイントメント制の積極的利用を促す施策(相互派遣)
(大学の義務的業務への支援、相互のメリット)
- 大型計画に対する最長10年の雇用(高度専門職)を可能にする予算措置

長期的展望に基づく分野を越えた組織化

戦略的中型

SPICA

SOLAR-C

LiteBIRD

公募型小型

JASMINE

DIOS

HiZ-GUNDAM

...

小規模プロジェクトによるPM教育

宇宙研

PI・PMの組織的育成教育

インターンシップ

PI・PMの評価システム

分野間の組織的移動・協力

クロスアポイントメントによる人材交流

ポスドクの長期雇用システム

PI・PMへの道

実験物理学的手法の教育
実験開発への評価

国立天文台、大学